

第38回 富士登山駅伝競走

町田走友会、今年も完走！ 世界文化遺産登録記念レース

8月4日（日）御殿場市陸上競技場を発着点に行なわれた第38回富士登山駅伝競走に、8年連続で参加しました。今年は富士山が世界文化遺産に登録された事もあり、例年よりも登山客が多く、注目度が高いレースとなりました。選手6名とサポート4名での参加で、1区から想定通りに襷が繋がり、4区で大きく貯金。5～7区の難関をどうにか繋ぎ、8区で再度の快走。順位は昨年よりひとつ下がりましたが、タイムは7分も縮まりました。記念の完走タスキは、4年連続サポートに来て頂いた村野さんに贈られました。



↑ 集合写真（レース後）



↑ 10区遠藤選手から11区大熊選手へ

町田走友会ニュース



第7号

発行責任者
田中一生
連絡先
090-9247-3207

< 参加者のコメント >

・（ ）内の順位は、一般の部 92チーム中の区間順位です。

* 大熊選手（1区 6位・11区 10位）

今年も1区を走らせていただき、ありがとうございました。先頭集団について後半勝負できたかと思っておりましたが、後半バテてしまい、ペースが上がりませんでした。

今回は区間賞取ってチームに貢献できるよう、頑張ります！

* 遠藤（治）選手兼監督（2区 84位・10区 80位）

今年は長澤さんのあとを継ぎ、初の監督を務めさせて頂きました。皆様のご協力により無事、襷を繋ぐ事ができました。ありがとうございました。

監督と言っても申し込みと当日の調整をしたくらいで、練習の調整や当日の細かい点については田中さんにほとんど調整して頂きました。また村野さん、金子さん、鈴木さんのサポート抜きには毎年のような成績は残せていないと思います。サポートをしていただき、ありがとうございます。

選手としては4年連続で区間80番台を出してしまい、すみません。最近練習も継続的に出来るようになっており、来年は4区間にまた戻れればと思います！

* 松谷選手（3区 43位・9区 80位）

いつも比較的向いている（と自分で思っている）3・9区で走らせてもらって、ありがとうございます。

今回も過去のタイムを参考に、できるだけ自己タイム更新を目指して走りました。ところが3区で昨年より30秒、9区で昨年より8秒遅くなってしまい、ちょっと残念な成績でした。が、まあ必死に走ったので仕方ありません。ところで、駅伝はタスキを受け取る瞬間の前走者の表情が一番印象に残ります。一刻も早く次へ、やる

だけやった、頼んだぞ！という気持ちが強く表れていて、さらにどこか次の走者を安心させるような表情を感じて、次の走者は気合を入れつつもどこか安心してスタートできるように思います。どんな応援より頼もしい応援を受けてスタートできるのが駅伝ならではのと思っています。とりわけ富士山の駅伝は恐ろしい急坂をスタートしていく不安もよぎるためか、こうした感じが強く残ります。

また次も楽しみになってきました。

* 斎藤（慎）選手（4区 14位・8区 14位）

私にとって本大会も町田走友会として襷を繋いだのも初でした。今回、4区・8区を走らせていただきました。試走の時点では何度も歩いてしまい、とても試合で走れる状態ではありませんでした。4区では、とにかく前のランナーを追い続け、8区では、転倒に気を付けながら下りました。結果的に昨年の総合タイムを抜くことができ、満足しています。

付き添いの方々、段取りを組んでくれた方々、ありがとうございました。

* 藤田選手（5区 57位・7区 70位）

今回で7回目の出場となりました。毎回、町田走友会の仲間に入れていただき、大変うれしく思っています。

さて、今回は昨年を引き続き5区・7区を担当させていただきました。2週間前に試走をしたところ、とても課題の残る結果となりました。しかし、昨年より少しでもタイムを縮めようと思い、当日のレースに臨みました。何度走っても辛い急勾配と、低酸素状態に悩まされ、設定タイムより遅くなってしまいました。何とか襷をつなぐことができよかったです。「苦しいけど頑張れる！」駅伝

の醍醐味を味わうことができました。当日までの取りまとめ、当日のサポート等々、自分が走るにあたってたくさんの方々に支えていただきました。また1年間練習を重ね、来年も是非参加させていただけたらと思います。本当にありがとうございました。

*** 田中 (一) 選手 (6区 47位)**

今年は、初めて山頂区間を受け持ちました。おかげさまで初めて山室に泊まり、24年振り登山頂まで登りました。

標高 3200mの山室での宿泊は困難を極め、すぐに酸欠をおこして、なかなか眠れませんでした。自衛隊の6区の選手は「現地で練習なんかしなくても、ここに居るだけで強くなりますよ!」と言っていました。しかし雲海の眺めや、星空の美しさは素晴らしく、天の川が見られました。

レースは上りで7人抜きましたが、下りで8人に抜かれて、6区は下り優位だと感じました。

初めての挑戦でしたが、事前の現地練習と長澤さんや遠藤監督のアドバイスのおかげで、無事に襷を繋げたと思います。

橋本走友会の猪俣さん、サポートして頂き、ありがとうございました。

*** 金子さん (2合8勺 サポート)**

富士登山駅伝は厳しくて、天候に左右される事が多く、走る選手にはとても大変な事は良く分かります。でも各中継所にサポートするものがいれば、選手も走る事に力を注ぐ事が出来るので、今後も協力をして行きたいです。

*** 村野さん (太郎坊 サポート)**

3日(土)朝、田中さんの車で遠藤監督夫妻と町田を出発!

開会式の後、今年は田中さんが6区を走る為、水ヶ塚公園からシャトルバスで上へ登りました。その為、車の運転をしながら各中継所への送迎を、私が担当する事になりました。この関係でサポートの場所は太郎坊になりました。

今年は携帯の通じる場所も早く見つかり、上下との情報交換もわりと取れ、全体把握も出来、準備もしやすかったと思っています。

そして松谷さん、斎藤さんの姿から6人の姿を想い、いっそうの強い感動を受けました。おかげで自分も何とかマラソン(スロージョギング)をもう少し続けて行けそうです。

タスキは選手のものですが、皆さんの総意だと言われ参加者全員のサイン入りで頂き、感極まっています。

*** 遠藤 (英) さん (馬返し上 サポート)**

富士登山駅伝、皆さん、本当にお疲れ様でした!!

主人が初監督という事で、少しでもサポートをと思いながらお金の入金やメールの送受信など少ししかお手伝いできず、申し訳ない気持ちで一杯です。田中さん、長澤さんに支えられ何とか無事に駅伝の申し込みをし、当日を迎える事ができホッとしております。

今年は期待の新人「斎藤さん」も加わり町田走友会に新たな刺激の風が巻き起こったのでは?と思います。

来年はどんな富士登山駅伝のドラマが待ち受けているのか、今から楽しみです。

町田走友会のこれからの発展を、心よりお祈り申し上げます。

*** 鈴木さん (青年の家 サポート)**

今年も青年の家でサポートをさせていただきました。

遠藤新監督のもと、皆が一丸となって臨んだことが、ほぼ目標どおりのタイムで襷をゴールまで繋ぐ結果につながったのではないかと思います。

若い斎藤さんが快走したこともあり、来年はもっとグレードアップ出来るのではないかと感じました。

まだまだ伸びしろを多く残したチームだと思いますので、来年も更なる上を目指して頑張らしましょう!



↑ 閉会式にて

*** 編集後記**

富士山は自然遺産ではなく、文化遺産として登録されました。歴史や文化の重みが世界的に認められたのでしょうか。

富士登山駅伝も、富士山にまつわる文化の一つ。これまで以上に選手や関係者のマナーが問われるようになるかも知れませんね。

区間	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
距離 (km)	5.48	4.64	4.38	3.00	4.24	4.92	3.66	2.75	4.38	4.64	4.88
高低差 (m)	184	345	371	664	1017	618	1017	664	371	345	184

● 町田走友会 成績表 (一般の部 40位、総合 70位)

走者	大熊	遠藤	松谷	斎藤(慎)	藤田	田中(一)	藤田	斎藤(慎)	松谷	遠藤	大熊
区間 タイム	19' 24"	26' 15"	23' 36"	31' 30"	59' 37"	55' 35"	11' 44"	7' 39"	14' 48"	15' 36"	14' 28"
通過 タイム	19' 24"	45' 39"	1° 09' 15"	1° 40' 45"	2° 40' 22"	3° 35' 57"	3° 47' 41"	3° 55' 20"	4° 10' 08"	4° 25' 44"	4° 40' 12"